

# 平成30年度 一般・特別会計決算を認定

一般会計

歳入 109億5,133万円 (1億8,395万円増)  
歳出 106億6,718万円 (1億9,832万円増)

特別会計

歳入 79億265万円 (4億4,750万円減)  
歳出 70億9,366万円 (4億5,000万円減)

( )内平成29年度比

## 9月 定例会

令和元年第3回定例会が9月4日から19日までの16日間の会期で行われた。初日(4日)は、平成30年度決算認定10議案について決算特別委員会を設置し、その審査を付託した。また、条例の一部改正や令和元年度一般会計及び特別会計補正予算等8議案については提案理由の説明を受けた。他に教育委員会委員の任命に同意し、養老町防災行政無線設備更新工事請負契約の締結について可決した。2日目(18日)は、6議員が一般質問を行った。最終日(19日)は、平成30年度決算認定について委員長から審査報告を受け、すべて原案のとおり認定した。そのほか、条例の一部改正や令和元年度一般会計及び特別会計の補正予算等6議案についてもすべて原案のとおり可決した。

## 決算特別委員会

委員長 大橋 三男 副委員長 水谷久美子

9月5日・6日の両日にわたり決算特別委員会を開催し、平成30年度一般会計及び9の特別会計の決算について集中審査を行った。その結果、委員会では全ての決算を認定すべきものと決定した。その中から、会計ごとにいくつかの質疑を報告する。

### 一般会計

ふるさと納税額が1億1916万円に増えた要因は。

ホームページなどで広く広告をしたことや、特に年末にかけて肉の返礼品が集中したことも要因のひとつである。

新しいふるさと納税返礼品の検討内容は。

ゴルフのアイアンがミスノテクニクス株式会社の協力で、追加されることになっていく。

肉祭りや養老フェスタの協賛団体謝礼の中身は。

野外ステージの司会を町内の芸能協会の方に依頼したため、謝礼として地域商品券1万円程度を支払った。

また、養老鉄道を使って肉祭りに来ていただいた方へのクーポン券や、養老フェスタの菓子まきの駄菓子等やバザー券に使用した。

ブランド認証事業の食品サンプルの使い道は。

現在、商工会青年部でもお世話になっているが、地方銀行主催のフードセレクションや首都圏でのキャラバンで、冷凍や冷蔵の肉やフランクフルトなど持ち運びが不便であるため、米以外の食品のサンプル101点を作成した。

地域公共交通網形成計画策定事業の内容は。

平成30年度に地域10箇所地域座談会を開催したところ、「オンデマンドバスの予約がわずらわしい」、「オンデマンドバスを一部特定路線化できないか」

という意見があり、現在、素案の段階であるが計画している。なお、来年度からは1週間くらい前から予約を入れられる実証実験や、オンデマンドバス1台を利用率の高いルートで固定運行する実証実験を開始する予定である。

男女共同参画推進事業について、大会方式からセミナー方式に変わった経緯は。

平成30年に女性防火クラブ連絡協議会を、平成31年2月に更生保護女性会及び保護司会を大会方式で開催したが、平成31年4月からは小規模なセミナー方式に変更して開催した。なお、今後については、女性連絡協議会でご協議いただいで決めたい。



### 特別会計

国民健康保険特別会計

不納欠損の件数と金額は。また、個人の最大額は。

件数は131件、金額は2051万174円。個人の最大額は268万6426円。

資格証明書と短期証の発行件数は。

令和元年9月1日現在、資格証明書は26世帯、38名。短期証は163世帯、295名。

食肉事業センター特別会計

新食肉基幹市場の設立に向けて、町内2つの食肉組合の統合に向けた話し合いの進捗状況は。

公共下水道事業特別会計

今後の下水道の整備方針は。

事業期間は平成31年3月末で終了したが、事業計画を変更



平成30年度に両組合がそろっての会合を持つことはできなかった。現在、当町の施設の利用がない組合の方にも新市場開設時には利用するよう働きかけていく。

住宅新築資金等貸付特別会計

債権の整理件数とその効果は。

平成30年度の債権の整理件数は29件あり、うち16件は分納誓約、8件は時効の援用待ち、5件は弁護士による交渉中である。効果としては分納で59万9797円が入金された。

介護保険事業特別会計

家族介護慰労金を見直す考えは。

現在令和7年までの延長をかけている。なお、平成29年度の構想見直しにより、下水道の整備区域以外のところは合併処理浄化槽の促進に変更されたため、下水道については計画的に維持管理していきたい。

自治町民会議の交付金について、広幡、上多度、笠郷の人員費に差がある理由は。

広幡は自治会館の駐在員が事務を行っているため人員費は無い。上多度は主事補が自治町民会議を担当する時間を予算計上している。笠郷は専門の事務局長に仕事をしてもらう予算となっている。なお、広幡は現在、上多度と同様に人員費を計上している。

マイナンバーカードの30年度末の発行実績は。

発行枚数の累計は2288枚。

地域未来投資促進法の関連事業の内容は。

企業誘致に当たり、「養老町の農産物特産品を活用した農林水産」、「東海環状自動車道の交通インフラを活

用した成長ものづくり」、「養老の滝など観光資源を活用した観光づくり」の3つの分野において、地方創生の関係もあり、観光も絡めながら調査委託で計画書を策定したものの。

改良住宅の払い下げ等について、今後の方針は。

現在、改良住宅の払い下げ・譲渡に関しては、改良住宅特別委員会が協議されており、今後譲渡に向けて滝見町営住宅から随時譲渡をするという内容が進んでいる。

留守家庭児童教室について、来年度の高学年の受入れ方針は。

エアコン設置で、夏休みの普通教室が利用可能となり、来年度からは夏休みだけでも6年生まで実施できればと考えている。

町税の差し押さえ件数と金額は。また、その内訳は。

平成30年度の件数は47件。金額は1385万9651円。内訳として、

- ・預貯金30件 1049万7602円
- ・生命保険 8件 47万4213円
- ・給料 1件 91万5324円
- ・賃借料 1件 119万9363円
- ・国税還付金 7件 77万3148円
- ・その他、以前差し押さえた分として、 250万9000円

今後の徴収の方針は。

現年度分を優先し徴収したい。また、差し押さえについては、財産調査し、少額で換価が難しいものを除いて、実施していきたい。